



# ネイホウ 你好

香港日本人学校小学部  
香港校だより  
2016年 8月15日  
平成27年度派遣 村上 大



早いもので来港して1年4カ月余りが経ちました。この長期派遣も、もうじき折り返し地点を迎えようとしています。香港での生活にも馴染み、香港の人々の温かさにふれる中で、お陰様で毎日安心して生活できています。私は本年度も6年生担任となり、全国各地から派遣された同僚と共に元気に日々の教育活動に邁進しております。5月には、沙田（シャーツェン）で熊本地震の復興チャリティーRUNイベントが行われ、同僚職員・本校児童と参加し、香港校でも児童会で募金活動を行いました。日常生活では、広東語での挨拶、買い物に必要な表現とタクシー用語などは使えるようになりましたが、如何せん香港では英語が通じることに甘んじてしまい、なかなか広東語の勉強が進んでいないことが課題の一つです。

## 香港の気象情報



Kumamon is not alone.  
「くまモンは1人じゃない！」



今年も暑い夏を迎えており、連日「VERY HOT」警報が発令され、熱中症に警戒するように学校でも呼びかけています。先日は、台風が香港を直撃しました。香港に台風が上陸するのは3年ぶりとのこと。現地テレビ放送の画面左上には、黒雲マークが映し出され、台風シグナル8が発令されました。「香港天文台」という日本の気象庁にあたる機関から気象標識が発令されるのですが、黄→赤→黒の順番で警戒度が高まり、赤（シグナル5）以上の警報が発令され

ると、学校は休校になります。今回は夏休みに入っていたので児童の登下校に影響がなかったのですが、シグナル8以上が発令されると、公共交通機関はすべてストップしてしまいます。職員も通勤手段が無くなり自宅待機。シグナル解除後に出勤しましたが、木々が倒れたり、バスやMTR（地下鉄）のダイヤも乱れたり、児童が登校している時でなくて良かったね、と職員全員で話したところでした。



T1 ↓ 3 ▼ 8  
sw 西南

## 香港校の水泳学習

暑い夏ですから、もちろん子どもたちが楽しみにしているのが、体育の水泳学習です。香港校には、校舎地下1階に25mプールがあります。香港の夏は、屋外プールでは日射しが強いので、水温が上昇し過ぎると併せて熱中症と日焼けが心配ですが、屋内プールだとその心配が要りません。また、2名の水泳指導員さんが常勤され、水質管理はもちろんのこと、学級担任と一緒に児童の安全のため監視と指導に当たってくださっています。5月のプール開きから、翌年の2月までプール使用が可能で、快適な環境で水泳学習を行うことができることで、児童の泳力が高まっています。



## スポーツ同好会の活動

水泳学習は充実しているのですが、昨年度のレポートにも記したように鳥取県の小学校のように広い運動場がなく、小さな校庭しかない香港校は、運動環境的には恵まれているとは言えない状況です。

香港では、6ヶ月以上滞在する者は、香港居留民身分証（IDカード）を申請し、常に携帯しなければならないことになっています。10才になると申請するのですが、このIDカードを有さない10才以下の児童は単独で出歩くことが法律上禁じられており、補導されると保護者の管理責任が問われます。そうした事情から、家の近くに大きな公園があっても、放課後に友達同士で誘い合って外遊びをするということが難しい香港……。体力をつけるには、日本にいる時より、更に意識しないといけません。健康な体づくりのためにも、定期的に体を動かす習慣を作ってほしい、という思いから、香港校PTAではスポーツ同好会を作り、児童の健全な体づくりと仲間づくりを行っています。

現在、水泳・バドミントン・バスケットボール・サッカーの各同好会が活動を行っています。また、同好会とともに、新体操やチャリディングなども盛んで、本校の体育館を使って保護者組織を中心に熱心に練習を行い、年に数回の成果発表会も行っています。



## 「ともだちの日」と「イングリッシュランチ」

香港校は給食がなく、子どもたちは毎日お弁当を持ってきます。歴史を紐解いてみると、昭和40年代、銅羅灣（トンローワン）のタワーコートビル（現在の The Lee Garden 向かい側のビル）にあった旧校舎時代、児童数が今よりも多かった頃には、給食も行われていたのですが、ハッピーバレーの現在地に移転してからは給食がなくなり、ランチタイムはお弁当です。日本的な弁当箱に入ったお弁当を持ってくる子もいれば、カレーライスやサンドイッチ、なかには保冷材で冷やしたそうめんを持ってくる子もありと、様々なバラエティーに富んだお弁当が見られます。



香港校の教育の特色でもある1～6年生の異学年交流活動「ともだちの日」。毎月1回、12班に分かれて一緒にお弁当を食べます。ランチの後は6年生のリーダーを中心に、体育館や校庭、屋上スペースなどで班のみんなと一斉に遊びます。天気の悪い日には屋上や校庭が使えないので、各教室で工夫して活動することになります。6年生は、目の前にいる下級生を見て、より最高学年の責任と役割を考えて行動できるようになります。そして、もちろんすべての子どもたちが他学年の子どもたちと、より深く親しく関わることができるようになります。「いっしょにお昼ごはんを食べ、いっしょに遊ぶ」、そのなかで、子どもたちの仲間づくりと成長の様子が垣間見られる交流活動です。

また、今年からは、「イングリッシュランチ」の取組も始まりました。香港校では、全学年、毎日1時間ずつ週5時間、学年ごとに、4つのレベルクラスに分かれて英語学習を行っています。学級の枠を取り除き、クラスごとにイングリッシュスタッフを囲んでお昼ごはんをいただくのが「イングリッシュランチ」です。ランチの後は、イングリッシュスタッフと共に、英語遊びやゲームなどで盛り上がり、普段の英語の授業時とは、ま



た違った雰囲気楽しく交流を行っています。